

JCHO 大阪病院を受診された患者さまへ

1. 課題名

心室期外収縮起源特定における 18 誘導心電図の有効性についての研究

2. 研究の対象

2018 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日の間に、以下の研究参加施設にて、心室性期外収縮と診断され、経皮的な心筋焼灼術を受けた方

3. 研究の目的・方法

心室期外収縮は 12 誘導心電図波形の特徴から、おおよその起源推定は可能となっておりますが、十分なアルゴリズムは存在していません。一方 18 誘導心電図は、現状の 12 誘導心電図に仮想的に 6 つの誘導を追加したものであり、一部の心室期外収縮の起源特定に有効であったと報告されています。しかし、心室中隔や左室心外膜などを起源とする心室期外収縮に対しての 18 誘導心電図の有効性は解明されていません。よって今回、種々の心室期外収縮の起源特定に対して、18 誘導心電図の有効性を明らかにすることを本研究の目的としています。本研究では、通常の診療で行われた検査結果や治療内容、治療効果などの収集を目的としており、新たに血液などの検体を採取することはありません。各施設にて、カルテより研究に必要なデータを収集し、JCHO 大阪病院にてデータベースに蓄積の上、解析を行います。

4. 個人情報の保護について

個人データは、各施設において匿名化を行った上で、データベースに提供されます。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に管理・保護します。

5. 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究への協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究へ情報提供を希望されない場合は、お申し出ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく担当医師等にご連絡ください。

6. 研究責任者・問い合わせ先

研究事務局：JCHO 大阪病院 臨床工学室

所在地：大阪市福島区福島 4-2-78

電話番号：06-6441-5451

臨床工学技士 松本景史（責任者）